

児童生徒が主体的に学習するきっかけをつくる授業

～ 兵庫県 たつの市教育委員会 ～



学クラ新聞

第24号



たつの市教育委員会では、市内全小中学校でみんなの学習クラブを活用しています。タブレット端末が導入されても、「書いて学習することを大切にしたい」と、みんなの学習クラブをご採用いただいています。今回は、市内の東栗栖小学校・誉田小学校・龍野東中学校の授業での活用をご紹介します。

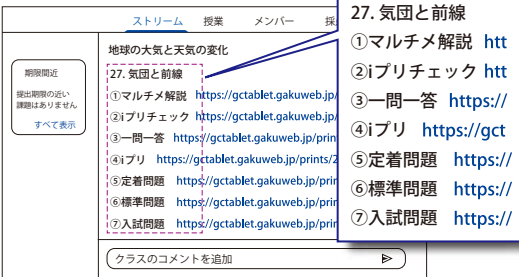


実際の授業の様子を動画でご覧いただけます



演習の際、先生はGoogle Classroomに今日の課題をリンクで配布した上で、前のスクリーンにも投影しています。生徒は、リンクからプリント画面を開き、それぞれのペーすで学習を進めます。iプリ・定着・標準・発展プリントとマルチメ解説・一問一答・iプリチェックと最終的には入試問題までのすべての問題に取り組みます。

◆みんなの学習クラブのリンクで課題を配布



▲Google Classroomで送付している課題のリンク

龍野東中学校の理科の授業では、後半の演習にみんなの学習クラブを活用しています。授業後のまとめに、マルチメ解説を投影し、全体で確認します。マルチメ解説を見たあとに、個別にプリントでの演習を始めています。



龍野東中学校(理科・2年)

◆自分のペースで計画的に学習

課題は、長期休業後の締切日までに取り組みます。授業の中で終わらないプリントは、タブレットを持ち帰る週末などに、家で学習します。授業のペースに合わせて学習を進める生徒もいれば、予習でマルチメ解説を見て、どんどん学習を進める生徒もいます。その生徒は、冬休みに学習しようと決めているプリントを残して、11月の時点で自分の学年のプリントを終えていました。生徒自身でそれぞれ計画をたてて学習しています。



◆学期ごとに先生が帳票を確認

生徒は、学習したプリントに必ず自己評価をつけます。マイページで確認しながら学習を進めていきます。先生は締切日以降に、生徒個別の帳票をダウンロードして、生徒の学習状況を確認します。





児童自身で学習内容や学習方法を選択

誉田小学校と東栗栖小学校の算数の授業の様子です。普段から授業の演習にiプリを活用しています。どちらの学校も授業の最後にタブレットでログインして活用しています。それぞれの特徴的な活用をご紹介します。

東栗栖小学校(算数)

◆自分でプリントにたどり着けるようにする(2年)

2年生の算数の授業の最後に個人IDでログインし、iプリを使って演習を行っています。先生から課題を伝える際、児童自身で指示のあったプリントにたどり着けるよう、学習するプリントの単元を黒板に貼っています。普段から自分でプリントを選ぶ習慣をつけることで、指示がない時でも児童自身で自学自習できる力を育みます。多くの児童がタブレットに書いて学習しています。



◆学習内容によってはノートに書いて学習(4年)

単元によってタブレットに書き込みやすいものと書き込みにくいものがあります。学習内容に合わせてノートに書くなど、使い分けています。



誉田小学校(算数・3年)

◆複数プリントから、児童が選択して学習

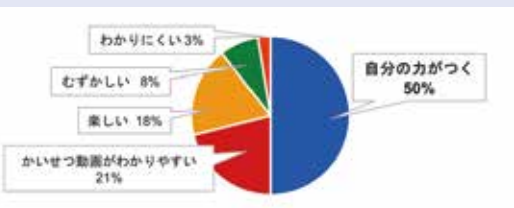
授業後の演習として、先生がオススメのプリントを複数枚、提示します。児童はその中から選んで学習を始めます。「苦手な部分を学習してもいいし、得意なところをしてもいい」と先生からも児童が選びやすいような声掛けをされています。



◆児童の声

誉田小学校3年生に「みんなの学習クラブを使ってみてどうですか?」という質問をしたところ、約半数の児童が「自分の力がつく」と回答しました。具体的な理由もフォームに入力してくれました。

- ・あまりわからないことでも動画を見るとわかりやすいです。
- ・なぜ、自分の力がつくかというところ、自分一人で考える時間があるから人に聞いたりせず考えられて自分の力がつく。
- ・みんなの学習クラブは、みんなの力になってテストで100点がとれるかもしれないから。



先生の声

◆教材作成の負担軽減

理科の授業では、動画解説から始まって、基本のプリント、入試問題まで、すべてのプリントを活用しています。これまでは、教材を作って、配布して、回収して、確認していました。みんなの学習クラブには、教材がそろっているため、今は生徒に課題を伝えれば、教師は確認するだけでいいので、とても負担が減りました。

◆生徒にいつでもどこでも学習できる機会を

みんなの学習クラブのおかげで、教師がしたかったことが実現できました。例えば生徒はいつでもどこでも、学習進度に応じて学習ができるようになりました。どの生徒にも、自宅で自学自習する機会も提供できています。

◆自ら学習を調整するきっかけに(教育委員会より)

みんなの学習クラブを導入したことで、教師が指示した問題だけではなく、児童生徒が自分で問題を選択し、解答を確認することができるようになりました。自分の学習進度や到達度に応じて課題を選択し取り組むことも大切な学習技能です。今後は、教師が各児童生徒の取組状況を把握し、より適切な指導を行いながら、児童生徒が自己評価や学習状況をもとに、自ら学習を調整できることをめざしていきます。